

プログラムの概要

団体名称	代表団体: 特定非営利活動法人えひめグローバルネットワーク 協力団体:
実施規模	■地域限定のプログラム: 1,000 万円未満/3 年以内に完了するもの □全国展開のプログラム: 1,500 万円未満/3 年以内に完了するもの
実施期間	2021 年 6 月 ~ 2023 年 4 月 (1 年 11 か月)
実施場所	四国
タイトル	多文化共生型の減災社会づくり実践研修
目的 (当該プログラムが 開発途上国に資す るポイント含)	<p>国内外の発災時の自助・共助の必要性が叫ばれる中、災害の多い四国では在住外国人の増加、少子高齢化により、地域防災担い手の減少、高齢者、外国人といった災害弱者の増加という問題が起こっている。また、国内外を問わず、実際の発災時には NGO 等が緊急支援に参加することが想定されるが、実際の現場ではコミュニケーション、調整不足等による混乱が発生し、十分な支援活動ができないといった事例が出ている。</p> <p>これらの課題を解決するため、NGO や防災に関与するステークホルダーを対象に、災害発生時に活躍できる人材育成とステークホルダー間のネットワーク強化を図る。</p> <p>あわせて、地域の災害弱者となっている在住外国人を対象にワークショップを行い、地域防災だけでなく、母国への帰国後にも防災の担い手となるよう自助能力を強化するとともに、地域との共生にも寄与する。</p>
概要	世界や地域で防災や災害支援に携わってきた講師を招き、国内外の防災や災害支援の方法を学ぶとともに、四国各県より、災害発生時の蓋然性が高い、住民等の巻き込みを含む防災対策を推進している等の一市町村を選び、それぞれ想定される災害(地域の所在地や地形)や、地域の在住外国人の状況(在留種別や人口比)などに合わせ、ふさわしい防災・減災教育を学ぶとともに、在留外国人向けワークショップを実施する。
受講対象者 及び定員	四国 4 県の NGO、民間企業、自治体等、地域防災のステークホルダー、及び在住外国人。各セミナーの定員は 20 名程度。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ●自助・共助を推進できる人材育成 ●四国の災害特性と防災対策の把握 ●ステークホルダー間の平時からのネットワーク形成 ●在住外国人による自助の修得
到達目標 を測る指標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来も活用可能な教材・ツールの作成。 ・ 参加 NGO が今後の災害時にどのような活動を行うかの計画策定。 ・ 在住外国人の仲間、母国への発信(SNS 再生回数)。 ・ ネットワーク形成に必要な多様な主体に呼びかけ(NGO、自治体、企業、地域コミュニティ、学校、関係団体等)を行い、四国 4 県のバランスに配慮し、SVOAD 参画者(団体、主体)を特定(100 主体程度)。